



令和5年度決算についてお知らせします

*** まちの財政状況の健康診断 ***

決算は、4月から翌年3月までに町のお金がどのように使われたかをまとめたものです。

令和5年度決算の町の財政状況についてお知らせします。

※決算のくわしい内容は、町ホームページをご覧ください。

☎ 財政管財課 ☎0178-56-4278



point ① まちのお金の出入り（決算額）を見てみましょう

● 一般会計の決算額

一般会計は、町税や国からの地方交付税の収入をもとに、福祉・教育・道路整備などの、生活につながりのある行政サービスを行う会計です。

一般会計の決算収支は、歳入歳出のいずれも前年度より増加しました。エネルギー価格や物価などが高騰している影響により、物件費（光熱水費、委託料など）、扶助費（子育て支援、医療費助成など）、補助費等（一部事務組合負担金、各種団体への補助金など）といった経常的な経費が増加していることが主な要因です。

会計名	歳入	歳出	差引額
一般会計	122億6,699万円	119億3,615万円	+3億3,084万円

● 特別会計の決算額

特別会計は、特定の目的の事業を行う会計で、一般会計とは区別しています。

6つある特別会計の決算の合計額は、歳入で前年度比6,986万円減、歳出で前年度比1億260万円減となり、いずれも前年度より減少しました。

会計名		歳 入	歳 出	差引額
特別会計	国民健康保険	22億5,979万円	22億2,402万円	+ 3,577万円
	奨学資金貸付事業	2,012万円	1,966万円	+ 46万円
	公共下水道事業	10億 847万円	9億9,369万円	+ 1,478万円
	農業集落排水事業	1億5,961万円	1億4,262万円	+ 1,699万円
	介護保険	24億4,682万円	22億7,161万円	+ 1億7,521万円
	後期高齢者医療	2億7,878万円	2億7,149万円	+ 729万円
合 計		61億7,359万円	59億2,309万円	+ 2億5,050万円

● 企業会計（病院事業）の決算額

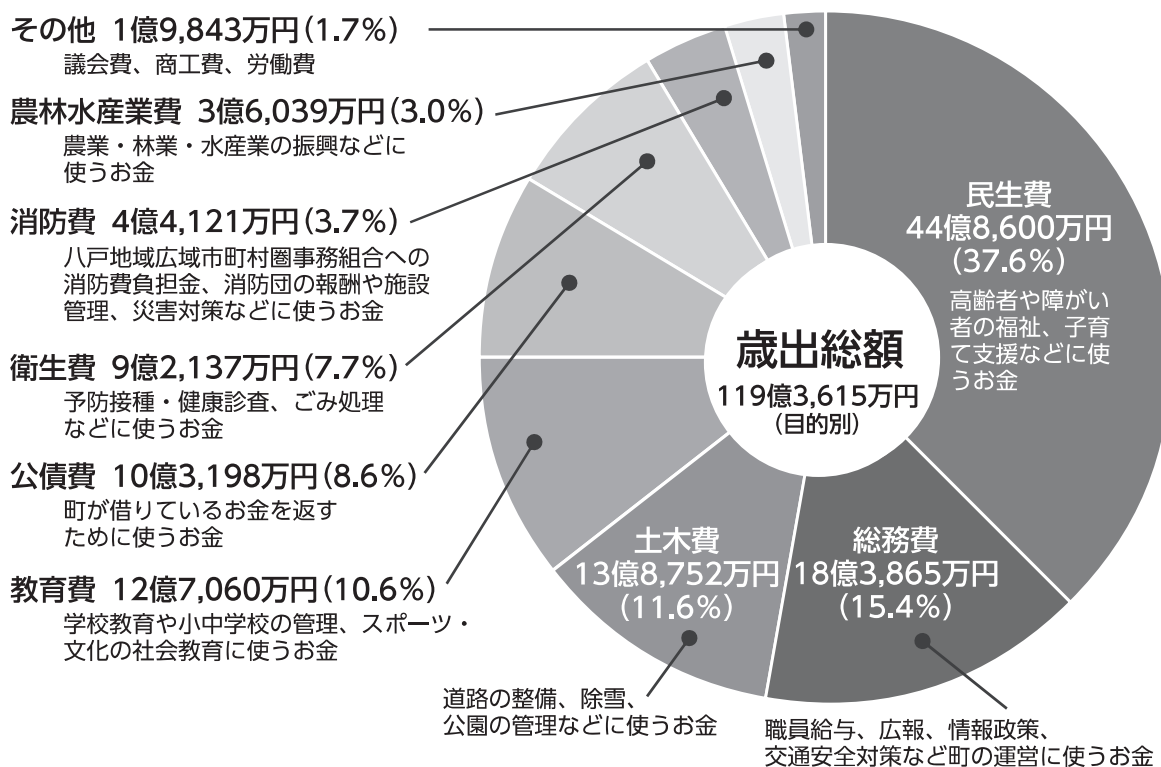
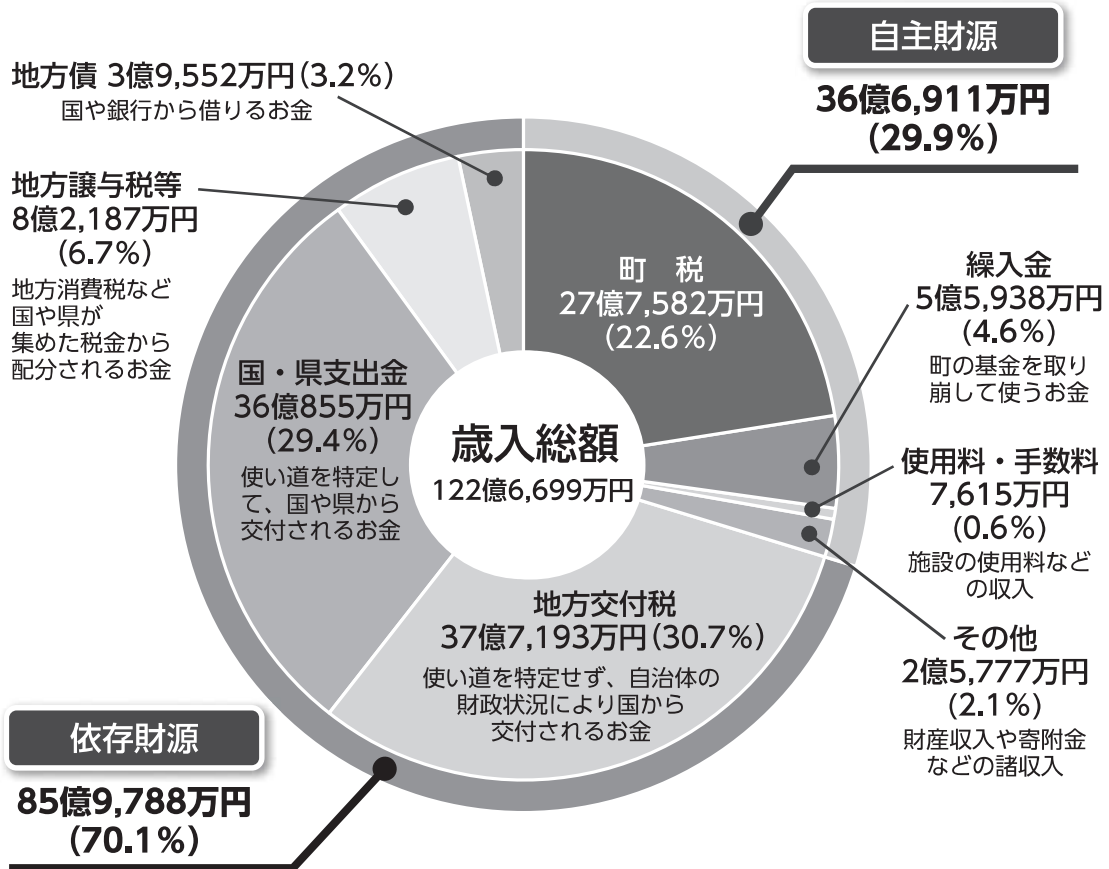
企業会計は、民間企業のように利用料などにより事業を行う会計です。町には病院事業会計があります。病院事業会計の収益的収支決算は、収入で前年度比226万円減、支出で前年度比9,321万円増となり、差し引きすると3,461万円の赤字となりました。資本的収支決算は、2,607万円の不足となりましたが、不足分は損益勘定留保資金で補填しました。

會計名		歳 入	歳 出	差引額
病院事業	収益的収支	9億8,460万円	10億1,921万円	△3,461万円
	資本的収支	3,217万円	5,824万円	△2,607万円
合 計		10億1,677万円	10億7,745万円	△6,068万円



point ②

一般会計の内訳を見てみましょう



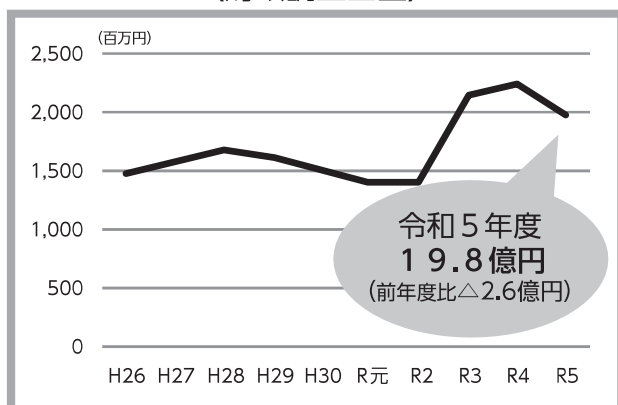


point ③ まちの貯金のやりくりを見てみましょう

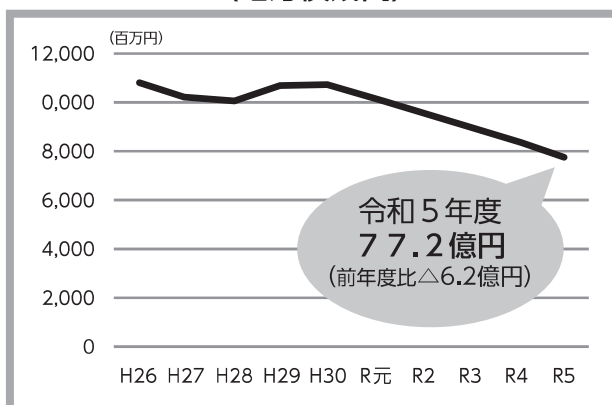
町の貯金である財政調整基金は、予算編成における財源不足を補うために必要に応じて取り崩しながらも、近年の予算編成で必要となる歳出額のおよそ2倍前後の残額を維持しています。

地方債とは、町が資金調達のために国や銀行から借り入れるお金のことです。令和5年度は、借入額よりも返済額の方が上回り、6年連続の減少となりました。

〈財政調整基金〉



〈地方債残高〉



point ④ 10年間の歳出の移り変わりを見てみましょう

歳出には、2つの分類方法があります。支出の目的によって分ける方法と、支出の性質によって分類する方法です。

下のグラフは、平成26年度から令和5年度までの10年間の歳出を、性質ごとに並べたものです。各年度の歳出額を示す棒グラフは、左から順に平成26年度から令和5年度までを示しています。

新型コロナウイルス感染症が流行し始めた令和2年度は、特別定額給付金などにより補助費等が大きく伸びていることが分かります。また、コロナ禍や物価高騰による影響を受け、生活支援などの扶助費や光熱水費などの物件費が右肩上がりに伸びています。

その時々によって必要となるお金を支出していることがグラフから読み取れます。

